

## 【水辺の楽校とは】

子供たちが自然にふれあう機会が少なくなったことから、安全に身近な自然の中で遊び、体験してもらおうと、水辺の楽校づくりが始まりました。名前は楽しい場所という意味で、学校ではなく「楽校」とつけました。そして自然の状態をなるべく残し、地域の学校の関係者や専門家の方たち、子供達からの意見を聞いてつくりました。自然あふれるこの水辺では、子供達が自分達で考え、地域の方たちもいっしょになって、安全に楽しく利用してください。

# 神林 水辺の楽校

- 荒川の上流から下流までの川の仕組みを、ミニチュアによって体験できます。
- 自然の水生生物や植物を観察したり調査するなど、課外授業の場となります。
- キャンプ場ではキャンプやバーベキューなどの遊びもできます。



モノサシトンボ(モノサシトンボ科)  
オスの体の色は黒地に青の線がともきれいで、体型は小柄でスリム、おしゃれですね。体の節には、その青色がもさしの自盛りのように見えるのでその名がつけました。木かげのある池沼に住んでいて、あまり遠くへ離れることはないようです。

## さまざまな生き物たちといっばい出会って下さい。 水辺の楽校周辺の自然



### サクラマス(サケ科)

川で生活しているものはヤマメと呼ばれ、海まで下るものはサクラマスと呼ばれます。雪がとけて増水すると川にのぼり、秋に産卵するまでえさを食べずにいます。産卵時期が近づくと体は棕色のしま模様になります。

### ノスリ(ワシタカ科)

トビよりも少し小さい茶色っぽい鳥です。1本の木や樺杭などにジッととまっていることが多いのでよく見えます。ゆっくりした羽ばたきで、大回りにまわるように飛びます。

### ミクリ(ミクリ科)

わあ!栗のイガみたい...なのでミクリ。根は水中にあって茎や葉を空に出しています。こういう植物を抽水植物といいますが、まれにからだ全体が水中に洗って水草のようにもなっていることもあります。

### 見つけられるかな？

### タヌキ(イヌ科)とキツネ(イヌ科)のあしあと

キツネのあしあとはほぼ一自線ですが、タヌキの方はジグザグに残っています。なみ足で、通り過ぎた跡のキツネの前後の足跡は重なります。その間隔は約50cmくらい。タヌキの方は後ろ足が外股なので、前足の外側に後ろ足の跡が残ります。

### タヌキ



### キツネ



### キャンプ場



### 芝スキー場



自然と遊んで、  
みんなで学ぼう!

### ホタル観察道



### 【水質浄化施設】

川は水をきれいにする自然の浄化機能をもっていますが、より効果的に水をきれいにするため、「植物浄化池」と、砂利と木炭を敷き詰めた「レキ間浄化池」を設置しました。なお、ここで使用する木炭は、上流の大石ダムの流木等でつくり、この浄化施設のほか、キャンプ場でも利用されます。



### ワンドとは？

川沿いにある湾状にほんだ水溜まりのことをワンドといいます。ワンドは、魚等の産卵・生育の場や増水時の避難場所となる役割を持っています。